

新大阪駅周辺地域に関する 経過及び検討スケジュール

新大阪駅周辺地域の経過などについて

○ 国の「骨太の方針《抜粋》」 H30.6

- 新大阪駅について、リニア中央新幹線、北陸新幹線（詳細ルート調査中）等との乗継利便性の観点から、結節機能強化や容量制約の解消を図るため、民間プロジェクトの組成など事業スキームを検討し、新幹線ネットワークの充実を図る。

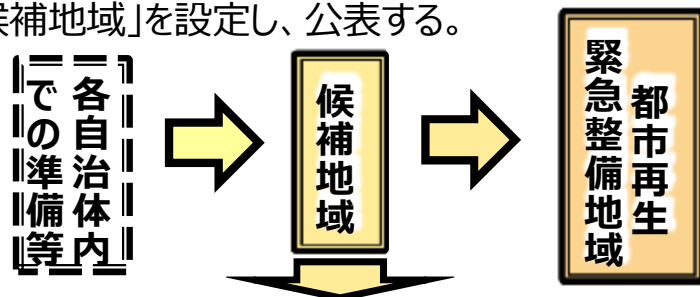
(新大阪駅周辺地域をとりまく環境のイメージ)



○ 都市再生本部の動き（本部長：内閣総理大臣） H30.7

■ 都市再生緊急整備地域の候補となる地域（仕組みが追加）

- 都市開発の気運醸成を促し、早期の民間都市開発を図るため、国が「候補地域」を設定し、公表する。



8/29 新大阪駅周辺地域が候補地域として公表

○ 大阪都心部の都市再生緊急整備地域（候補含む）



都市再生緊急整備地域の効果（例）

容積率の緩和 + 地域貢献（基盤整備等）

うめきた（グランフロント大阪）



大阪駅北地区

容積率: 800% → 1600%

地域貢献：広場整備等

新大阪周辺地域のまちづくりの検討スケジュール

～2019年度 : 将来像などのまちづくり方針の骨格

リニア・北陸新幹線の
駅位置の方向性を踏まえ

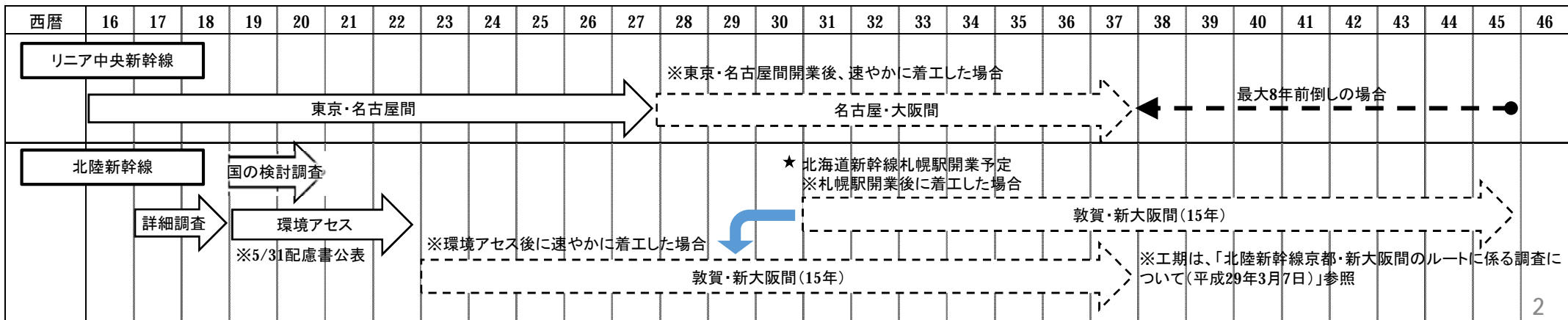
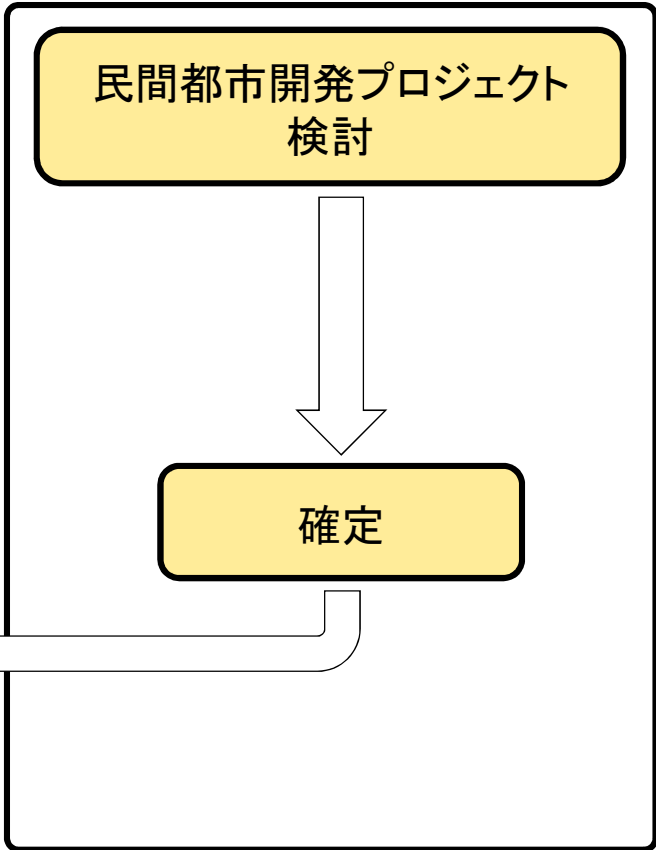
2020年度(以降) : ゾーニング、インフラ計画

2020年度(以降) : まちづくり方針の作成

2020年度(以降) : 都市再生緊急整備地域の指定

公共施設整備と民間都市開発の実施

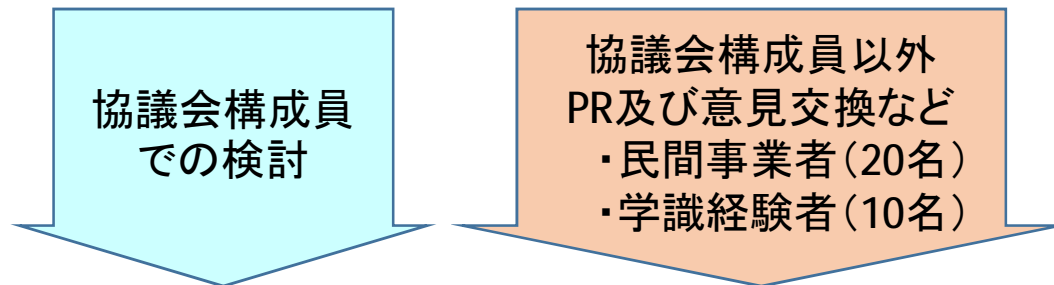
民間の創意工夫



まちづくり方針の骨格の検討スケジュール

○第1回検討協議会会議(2019年1月22日)

- ・新大阪駅周辺地域の担うべき役割
 - (1)スーパー・メガリージョンの西の拠点
 - (2)広域交通ネットワークの一大ハブ拠点
 - (3)関西・西日本・アジアのゲートウェイ



○第2回検討協議会会議(2019年9月26日)

- ・新大阪駅周辺地域に導入すべき都市機能

○第3回検討協議会会議(冬頃)

- ・対応すべき課題、まちづくり方針の骨格(素案)

■ まちづくり方針の骨格のとりまとめ(年度末)